

《実習科目 実習科目》

科目名	教育実習（中）				
担当者氏名	植原 和彦、山本 元子				
授業方法	実習	単位・必選	4・選択	開講年次・開講期	4年・春期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	○ 実習-3 コミュニケーション能力の向上 ○ 実習-4 発達の深い理解 ◎ 実習-5 指導・保育の専門性				

《授業の概要》

教職は、社会的自覚の上に成立するため、強い使命感はもとより、高度の専門的知識と優れた技能が求められる。中学校での教育実習は、大学における教育・研究を通して得た教育についての理論や、教科についての専門的知識、及び、生徒の理解等を総合的に実践できるように、学習指導案の作成、生徒の発達段階とその理解、場面指導、地域連携等々を実習という体験の中で展開していく。

《授業の到達目標》

学校現場は、教職教養を含めた大学教育全体の総合的実践であるとともに、教育の現場において、教育における課題を見つけ出し、教育技術を身に付けていく創造的生活体験の場である。学校教育において必要とされる教師の態度、技能を身に付けることを目的とする。また、教育現場で必要とされる実践能力を具体化し、さらには生徒との直接の触れ合いの中で育ち培われる能力を身に付けることを目的とする。

《成績評価の方法》

勤務状況40%  
 実習校での評価40%  
 教育実習ノート及び学習指導案を含む実習報告10%  
 社会人としての基本的な行動10%

《テキスト》

実習校で活用したもの  
 本大学の実習ノート  
 教育実習の手引き

《参考図書》

実習校で指示されたものや配布物。

《授業時間外学習》

- ・実習前には、実習校との事前打合せをていねいに行う。
- ・学校ボランティア活動等しておく。
- ・準備しておく。
- ・実習校からの指導・助言や気付いたことは記録しておき、実習後に振り替える省察の資料とする。
- ・公務員、教職としての服務規程を徹底する。

《備考（教員経験の有無）》

この教科は幼稚園・小学校・中学校の教員経験に基づき構成しています。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容
1	実習校の方針と計画	特色ある学校教育の全体の把握の上、計画の作成
2	生徒理解①	生徒の学校や園生活における実態の把握と理解
3	生徒理解②	教員と生徒の関係を理解。 生徒指導に関わる研究及び実践。
4	生徒理解③	教師の活動（学級・校務分掌業務）の一端を分担し、役割を自覚し、教員としての在り方を理解。
5	生徒理解④	地域の状況、学校、家庭、地域との連携について理解。
6	授業の創意工夫①	授業における教師の会話術、板書の構造化、授業分析等の諸技術の習得。
7	授業の創意工夫②	授業における、発問の構成、視聴覚教材の創意工夫等の諸技術の習得。
8	授業の創意工夫③	授業観察により各教科（英語）の学習指導に関わる研究並びに実践。
9	授業の創意工夫④	特別の教科道徳の学習指導に関わる研究並びに実践。
10	授業の創意工夫⑤	特別活動の学習指導に関わる研究並びに実践。 課外活動に関わる研究並びに実践
11	学級経営①	学級経営への参加と学年経営の理解。
12	学級経営②	学校運営の理解
13	研究会への参加	実習校で実施される研究会や講演などへの参加。
14	指導案作成と研究授業の実施	各教科における授業づくりと学習指導案の作成実習 授業等の学校教育活動を創意工夫することにより、実践の中で指導技術等を学ぶ。
15	総括	教育実習全体を振り返り、自己分析を行い、教師の活動（学級・校務分掌業務）の一端を分析することにより、使命と役割を自覚し、教員としての在り方を理解する。